

文部科学省「職業実践力育成プログラム」 山口大学

「馬予防医学実践力育成プログラム」のご案内

山口大学では、馬の予防医学に必要な知識および技術について、Hands-onプログラムを通して社会人の学び直しのためのリカレント教育（大学卒業後の人材育成）を行っています。

これらのカリキュラムや実績を下に、「仕事」や「家事・育児」が忙しく自己啓発の余裕のなかった社会人、「適切な教育訓練機関が見つからない」、「教育コースの情報が得られにくい」あるいは「どのようにして情報を入手するかわからない」などの事情を有する社会人に対して「馬予防医学」の実践的思考、知識、技術等を学ぶ機会を提供するため、履修証明制度¹⁾の要件を満たした「馬予防医学実践力育成プログラム」を新たに開設しました。

また、このプログラムは、大学・大学院・短期大学・高等専門学校における学び直し、及び社会人のスキルアップを推進している文部科学省より、2020年に職業実践力育成プログラム²⁾として認定されました。

さらに、厚生労働省より2022年に教育訓練給付金制度「特定一般教育訓練講座」³⁾の指定を受けました。
(予定)

- 1) 「履修証明制度」とは：文部科学省が推奨する、大学が学生の教育や研究に加えて、より積極的な社会貢献として、社会人向けに体系的な学習プログラムを開設し、その修了者に対して、法に基づく履修証明書を交付できる制度です。
 - 2) 「職業実践力育成プログラム」とは：大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定するものです。
 - 3) 「教育訓練給付金 特定一般教育訓練講座」とは、厚生労働省が中長期的なキャリア形成を支援する講座を指定して、給付金を支給する制度です。一定の条件を満たす受講生は、受講料の40%の補助を受けることができます。(ハローワークへの事前申請必要)。(予定)
- ・対象：地方で活躍される馬飼養管理に関わる社会人（それ以外の方も受講可能。経験者・未経験者不問）
 - ・定員：10名
 - ・受講料：60,000円（履修時間 60時間）
 - ・応募期間：2022年2月9日～2022年2月28日まで（定員になり次第締め切ります。）
 - ・プログラムの期間：2022年4月1日～2022年10月31日（7ヶ月）

プログラムの特徴

- * 全国どこからでも受講可能です。集中的に山口大学でのHands-on臨床実習・グループディスカッションの講義時間がありますが、事前自己学習・レポート作成についてはe-ラーニングなどITを活用した授業形態ですので、夜間など、自分の都合のよい時間帯に講義を受けることができます。
- * 1年間で60時間の授業の受講が必要です。なお、60時間のプログラムを修了すると、山口大学から学校教育法に基づく履修証明書が発行されます。取得した履修証明書は履歴書や名刺に記載できます。
- * 正式名称：山口大学履修証明プログラム「馬予防医学実践力育成プログラム」修了認定
- * このプログラムは、1月に募集開始します。4～7月に事前自己学習として馬予防医学に必要な知識についてe-ラーニングを用いて50時間学修します。8月には集中実習として山口大学で下記のHands-on臨床実習を8時間ならびにグループディスカッションを2時間実施します。

Hands-on臨床実習（集中実習）の概要

- 1：目 標 馬の予防医学に必要な知識および技術をHands-onプログラムを通して学び直しましょう。
- 2：期 間 2022年8月29日（月）
- 3：場 所 山口大学動物医療センター2Fセミナー室、産業動物診療室等
- 4：持参品 作業着・長靴・帽子・秒針つき時計。
- 5：備 考 実習の生体材料の準備の都合上、モデルを用いた実習となることがあります。コロナ禍の状況により、オンライン開催となることがあります。
- 6：講 師 山口大学：佐々木直樹（コーディネーター）
田浦保穂（外科）

※ シラバスの詳細・募集要項・履修証明プログラム履修許可願のダウンロード等については山口大学共同獣医学部HP (<http://www.vet.yamaguchi-u.ac.jp/umaprogram/>) をご覧ください。

・ お問い合わせ先 (Email: nsasaki@yamaguchi-u.ac.jp 佐々木直樹)

・ 申し込み先：山口大学共同獣医学部学務係 〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1 TEL：083-933-5808

馬予防医学実践力育成プログラム 時間割

科目		開催日	8:00-12:00	13:00-17:00	18:00-20:00
事前自己学習	1日目	e-ラーニング	①相馬学の基本事項	②馬装具について ③若馬の育成とトレーニングについて	④馬の成長と損耗・予防
	2日目	e-ラーニング	⑤馬の生理基準値と健康管理・予防 ⑥馬の栄養管理と牧野管理（含む寄生虫）	⑦子馬の病気予防 ⑧牧野管理と寄生虫・虫卵	
	3日目	e-ラーニング	⑨競走・競技前後の運動器官と飼養管理 ⑩骨系について	⑪関節の仕組みと疾患・予防を考えよう ⑫筋肉の仕組みと疾患・予防並びにトレーニング効果について	
	4日目	e-ラーニング	⑬腱と靭帯の仕組みと疾患・予防 ⑭蹄の仕組みと疾患・予防について＝蹄の仕組みを知らう＝	⑮農・脊髄神経の仕組みと疾患・予防、検査法を知る ⑯跛行検査とレジスタント運動	
	5日目	e-ラーニング	⑰消化器系の仕組みと疾患・予防・対応 ⑱馬の呼吸器の仕組みと疾患について	⑲循環器系の仕組みと疾患・予防・対応 ⑳泌尿生殖器系の仕組みと疾患・予防	
	6日目	e-ラーニング	㉑内分泌器官系（主に生殖器、骨、腎臓関係）の仕組みについて ㉒馬の感覚器系の仕組みと疾患	㉓馬の伝染病と主な感染症	
集中実習	1日目	8月29日	一般身体検査・歩様検査・触診Hands-on	消化器Hands-on、運動器Hands-on	グループディスカッション